

2026年度入学試験（2月）  
大学院デザイン工学研究科

都市環境デザイン工学専攻 修士課程  
キャリア3年コース

入学試験問題・解答用紙

[小論文]

2026年2月18日（水）  
9：30～12：30

<解答要領>

1. 解答は、問題用紙の解答記入欄にすること。
2. 問題用紙（解答用紙）のすべてに、受験番号と氏名を記入すること。また、表紙右下に受験番号・氏名を記入すること。
3. 裏面は使用しないこと。解答用紙配付枚数が不足する場合は、試験監督に申し出ること。
4. 参照・電卓使用はすべて不可とする。
5. 問題用紙（解答用紙）はすべて提出すること。
6. 別途配付する計算用紙は提出不要。

受験番号	
氏名	

2026 年度法政大学大学院デザイン工学研究科入学試験（2 月） 問題・解答用紙

試 験 科 目	専 攻	参 照	電 卓	受 験 番 号
小論文  ( 1 枚目/3 枚中)	都市環境デザイン工学専攻	可 ・	可 ・	
		不可	不可	氏 名

※参照可の場合（ ）

【課題文】

我が国は、少子高齢化・人口減少が深刻化する中、公務サービスを含むあらゆる産業分野において、労働力の減少が懸念されている。

建設業や運輸業では、今後も就業者の高齢化・若年者の入職の減少が見込まれ、中長期的な担い手の確保・育成が喫緊の課題となっている。これに、いわゆる「2024 年問題」に加え、エネルギー・資材の物価高等の社会情勢の変化も相まって、生活に必要な身近なサービスの維持・存続が危ぶまれる状況である。

こうした「担い手不足等によるサービスの供給制約」に対し、国土交通分野では、労働者の処遇改善や担い手の拡大による労働環境の改善、より少ない人員でサービス供給を可能な限り維持するための新技術の利活用による省人化・省力化の推進、また、供給方法の見直し・需要者側からの協力といった取組も見られ、このような動きが今後、加速していくと考えられる。

国土交通省 「令和 7 年版国土交通白書 概要」抜粋

【問題】

課題文では、担い手不足への対策として「省人化・省力化推進のための新技術（DX・AI 等）の利活用」が挙げられている。これを踏まえ、あなたに関心のある具体的な土木分野の課題を一つ挙げ、「AI やデータサイエンス技術をどのように適用すれば、その課題における生産性向上や省人化が実現できるか」を論じなさい。論述にあたっては、以下の 3 つの視点を含めること。

1. 対象とする具体的な業務・工程（点検、劣化診断、交通流予測、洪水シミュレーション、施工管理、設計最適化、測量・検査）
2. 適用する AI 技術（画像認識、時系列データ解析、強化学習、自然言語処理、生成 AI）
3. 社会実装に向けたハードルとその解決策（現場への導入障壁、人材育成、コスト、法規制、データ整備、説明責任など）

## 2

2

2

2

## 2026 年度法政大学大学院デザイン工学研究科入学試験 (2 月) 問題・解答用紙

試 験 科 目	専 攻	参照	電卓	受 験 番 号
小論文 ( 3 枚目／ 3 枚中)	都市環境デザイン工学専攻	可	可	
		不可	不可	氏 名

※参照可の場合（ ）

[illegible]